

「楽しんだ 野外活動！」

10月27日～28日の二日間で野外活動に行ってきました。場所は、青少年野外活動センター（安佐北区）です。高速道路を降りてどんどん山道を上がり、約一時間で到着しました。周りは見渡す限り山で、自然に囲まれた素敵な場所でした。

到着して一番目の活動は「飯盒炊飯」です。コロナの影響により、家庭科で調理実習をすることが少なかったため、メニューは、①ビニール袋で炊いたご飯②お気に入りのレトルトカレー③ゆで玉子です。何といっても火を起すことが大前提です。子どもたちは、食事係を中心に薪を並べ、新聞紙に火をつけてチャレンジしました。「やったあ！ついた！」とうれしそうな声、「なかなかつかない、どうしよう。」と悲しそうな声、様々な声が聞こえてきましたが、すべての班が無事に火を起こし、昼ご飯を作り終えました。「ゆで玉子苦手だったのに、これだったら食べられる。」「火を起こすのがこんなにも大変だなんて思わなかった。」「カレーライス最高！」など班で楽しく食べる様子が見られました。

夜のメインイベントと言えば、「キャンプファイヤー」です。レク係の子どもたちは、みんなに楽しんでもらおうと学校で準備をしてきました。司会から、ゲームの進行まで、すべてレク係が中心となって行いました。10月終わりの山は暗く、肌寒かったのですが、炎とみんなの笑顔でファイヤー場は明るく照らされ、レク係のゲームによってみんなの心と体はぽかぽかに温まりました。東小学校から先生たちも応援に来て下さり、みんな一緒に楽しみました。アメリカから「ダーヤスさん」というファイヤーパフォーマーも来てくれてみんなの目を釘付けにしました。

キャンプファイヤーが終わり、お風呂に入った後は、夜の集いです。今日見つけた班の友達の良い所を画用紙に記入していききました。具体的な場面を書いているコメントが多数あったことから、班のメンバー一人一人と関わりながら活動していたことが伝わってきました。

～児童が見つけた 友達の良い所を紹介します！～

- ・カレー作りで困っているときに、「ぼくがやろうか？」と声かけをしてくれて安心した。
- ・面白くて盛り上がる。面白いだけでなく、頼りになる。
- ・〇〇さんは、班長として、2班がバラバラになったときにみんなをまとめてくれた。

二日目のオリエンテーリングでは、班で相談しながらポイントを次々に見つけ、大自然の中で仲を深めることができました。野外活動後の感想でも、楽しかったこと・仲が深まった活動として「オリエンテーリング」が選ばれていました。しんどい時に、相手を思いやり、声をかけることができていたからこそ、心に残ったのだと思います。素敵な体験ができた野外活動でした。



火をつけるのって大変だね。
もう少しでつきそうなのに。



火の神から、4つの大切な火をいただきました。



良い所見つけたよ！



